

小学校の学習支援『川学習の出前講座』

実施校 上越市立春日新田小学校

学年・人数 4年生・57名

実施日 令和3年11月4日（木）

上越市立春日新田小学校において 出前講座「川の防災学習」を実施しました。

防災教育の専門家である上越教育大学大学院 山縣教授の協力のもと、上越市立春日新田小学校4年生（2組 計57名）を対象に、出前講座「川の防災学習」を実施しました。

本講座は全3回の内容からなり、第1回は災害・防災に関する基礎学習、第2回は散策しながら水害時の危険箇所を学ぶ現地学習、第3回は学校の周りの危険箇所・安全箇所を調べる自己学習を行います。今回は、第3回目の講座を行いました。

【山縣耕太郎教授 プロフィール】

所属：上越教育大学大学院学校教育研究科社会系教育講座教授

専門は自然地理学（島弧火山発達史、第四紀環境変遷史など）。

上越教育大学が主催する出前講座では、「地域の災害を想定する」をテーマに防災教育を行っている。

● 実施概要

○第3回 テーマ「川の防災に関する自己学習」

日時：令和3年11月4日（木）

1限 8:40～9:25、2限 9:30～10:15

場所：春日新田小学校 多目的室

参加者：春日新田小学校 4年生1組、2組 57名

- 内容：1) 児童によるグループワーク ～洪水時に危ない・安全な場所を地図にまとめる～
2) 7.11水害の浸水範囲と洪水ハザードマップの浸水範囲の説明
3) 洪水時の避難に関する説明 ～洪水が起こった時どうすればよいのだろう～
4) その他



4年1組の講座風景



4年2組の講座風景

小学校の学習支援『川学習の出前講座』

実施校 上越市立春日新田小学校

学年・人数
実施日

4年生・57名
令和3年11月4日（木）

● 出前講座の様子



洪水時に危ない場所

洪水時に危ない場所として、用水路や側溝の他に、アンダーパスや地下道があることを説明しました。



児童によるグループワーク①

児童が事前に調べた、洪水時に危ない場所と安全な場所をそれぞれ、付箋に書き出してもらいました。



児童によるグループワーク②

1枚の大きな地図に、洪水時に危ない場所、安全な場所をまとめてもらいました。



グループワークの成果

児童にまとめてもらった地図から、通学路やその周辺には、危ない場所が数多くあることがわかりました。また、逃げ込める安全な場所があることもわかりました。



7.11水害の浸水範囲

7.11水害で浸水した範囲（青斜線）を、グループワークで作成した地図に重ねました。洪水時に危ない場所は浸水範囲内にあり、注意しなければいけないことを説明しました。



洪水ハザードマップの浸水範囲

洪水ハザードマップの予想浸水範囲（赤斜線）を、グループワークで作成した地図に重ねました。7.11水害の浸水範囲よりさらに広くなることを説明しました。



講座のまとめ

講座のまとめとして、水害にあわないために、「①洪水に関する放送を聞く、②洪水前に避難し、洪水が起きたら外へ出ない、③洪水時のことを家族と話し合う」ことが重要であると説明しました。



児童の感想

これまでの講座を振り返り、児童から「洪水が起きた場合は、安全を確認して、家から出ない、高い所に避難する」などの感想を聞くことができました。



その他（関川の魅力の紹介）

関川は、水害をもたらす怖い面もありますが、農業や発電用水など生きていく上で欠かせない地域の宝であることを説明しました。